

平成21年10月13日

国土交通省都市・地域整備局長  
加藤 利男 様

社団法人 日本民営鉄道協会  
会 長 上 條 清 文

### 平成22年度連続立体交差事業に係る予算の確保についてお願い

民営鉄道事業につきましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご高承のとおり民営鉄道は、日々、通勤・通学を始めとする3千万人に近い利用者の足として、国民生活に不可欠な基幹的公共交通機関たる役割を果たすとともに、地域の社会経済を支える基礎的な公共インフラとなっております。

一方、民営鉄道を取り巻く事業環境は、昨今の景気後退や新型インフルエンザの流行、そして高速道路料金引き下げ等の影響を受け大変厳しいものがありますが、更には、少子・高齢化が本格的に進展しつつあることから、今後ますます厳しさが増していくことが懸念されます。

しかしながら、このような環境下にあっても、安全輸送が鉄道の基本であるとの認識の下、安全対策に懸命に取り組んでいるところですが、とりわけ連続立体交差事業を中心とする「開かずの踏切」対策は、民鉄事業に係る安全対策上最大かつ喫緊の課題であります。また、このような連続立体交差事業は交通渋滞の解消、環境負荷の軽減更には地域社会の分断化の解消とその活性化のため、是非ともその推進が図られる必要があります。

このような中、政府・地方公共団体におかれましては、連続立体交差事業等による多数の踏切の除去等を緊急かつ重点的に推進されておりますが、民鉄各社においても、引き続き連続立体交差事業を積極的に進めていく必要があると考えております。

連続立体交差事業については、その事業期間が長期にわたり、かつ、その事業費も莫大であることから、この事業を今後とも円滑に推進していくためには、国及び地方公共団体における安定的な財源が是非とも必要であります。

このため、平成22年度の政府予算の編成に当たり、民営鉄道事業の公共的役割と連続立体交差事業の必要性を十分にご理解いただき、連続立体交差事業の円滑な実施に必要な予算について、特段の配慮を賜りますようお願い申し上げます。

以 上